

りそな マーケットフラッシュ デイリー

◎注意事項をよくお読みください
2026/04/16
りそなホールディングス 市場企画部

◆前営業日の相場動向◆

米イラン停戦合意期待が継続し、S&P500とナスダックは最高値更新

	4/15	前日比		4/15	前日比		4/15	前日比
日本国債(10年)	2.405%	-0.010%	日経平均(円)	58,134.24	256.85	ドル円	159.00	0.21
独国債(10年)	3.043%	0.019%	独DAX(pt)	24,066.70	22.48	NY原油	91.29	0.01
米国債(10年)	4.283%	0.036%	NYダウ(ドル)	48,463.72	-72.27	NY金	4,800.00	-25.00

【ポイント】

- **日本株は上昇**：米国とイランの停戦合意期待から前日の欧米株が堅調に推移。これを受けて日本株も買いが先行し、日経平均株価は5万8000円台を回復。一時5万8585円まで上昇し、中東情勢の悪化前につけた史上最高値5万9332円が視野に入る状況となった。買い一巡後は、高値圏で売り買いが交錯する展開となった。
- **米国株はまちまち**：米国とイランの停戦合意期待を背景にS&P500とナスダック総合は史上最高値を更新。業種別ではハイテク株主導の上昇となるなかで、ハイテク株比率の低いNYダウは反落となった。
- **米国金利は上昇**：停戦合意期待がくすぶる中でも、原油の反応は限定的。リスクオン地合いの中、経済指標が予想を上振れ、金利は素直に上昇した。
- **ドル円は上昇**：リスクオン環境のもとでドルも円も主要通貨の中で弱小動き。片山財務相とベッセント財務長官の会談が伝えられ円高に振れる場面も見られた。

【主な材料】

- 4月NY連銀製造業景況指数：11.0（予想0.0、3月▲0.2）
- 米国とイランが停戦の2週間延長を検討-ホルムズ海峡の封鎖続く

◆本日の見通し◆

米イラン協議進展期待が継続するなか、日本株は戻りを試す展開を想定

日本株 ↗ 58,200-58,800

米金利 ↘ 4.26-4.30

ドル円 ⇒ 158.50-159.50

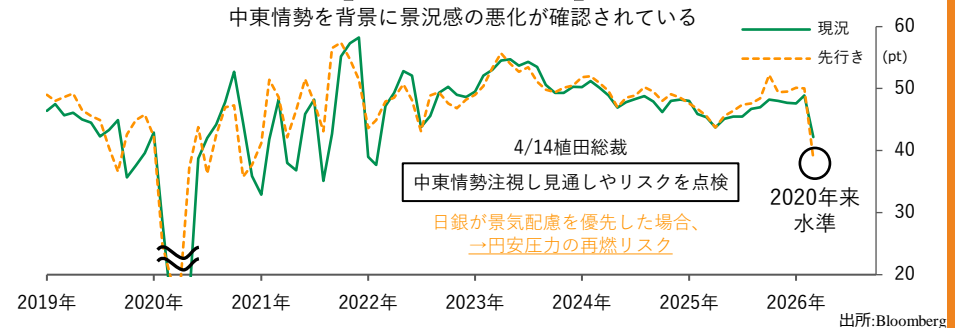
- **日本株**は上昇を予想。米国株が最高値を更新し、日本株も戻り売りをこなしながら最高値更新を伺う展開を想定。
- **米金利**は低下を予想。原油価格がピークアウトする中で4.3%を前にした押し目買い意欲は強く、金利は低下しやすいであろう。
- **ドル円**はもみ合いを予想。有事のドル買い一服と介入警戒から方向感出にくい。159円を挟んで一進一退の展開を想定。

◆本日の注目ポイント◆

景気配慮が強まる場合の円安リスク

- 中東情勢を背景に、インフレと景気下振れの双方を意識せざるを得ない局面で、日銀は今月会合で難しいかじ取りを迫られる。
- 市場では、原油高と円安の同時進行を避ける観点から、仮に据え置きとした場合でも、日銀は利上げ路線を維持するとみられている。一方、中東情勢が好転せず、日銀がインフレ抑制よりも景気配慮を重視する姿勢を強めれば、海外が引き締め方向に傾く中では、円安圧力が強まる可能性もある。
- 会合まで時間はあるが、4月会合を巡る観測記事や日銀高官発言を通じて景気配慮を優先する姿勢が示された場合、円安が大きく進行する可能性には注意が必要である。（担当：苅谷）

【景気ウォッチャー】



◆当面の注目イベント◆

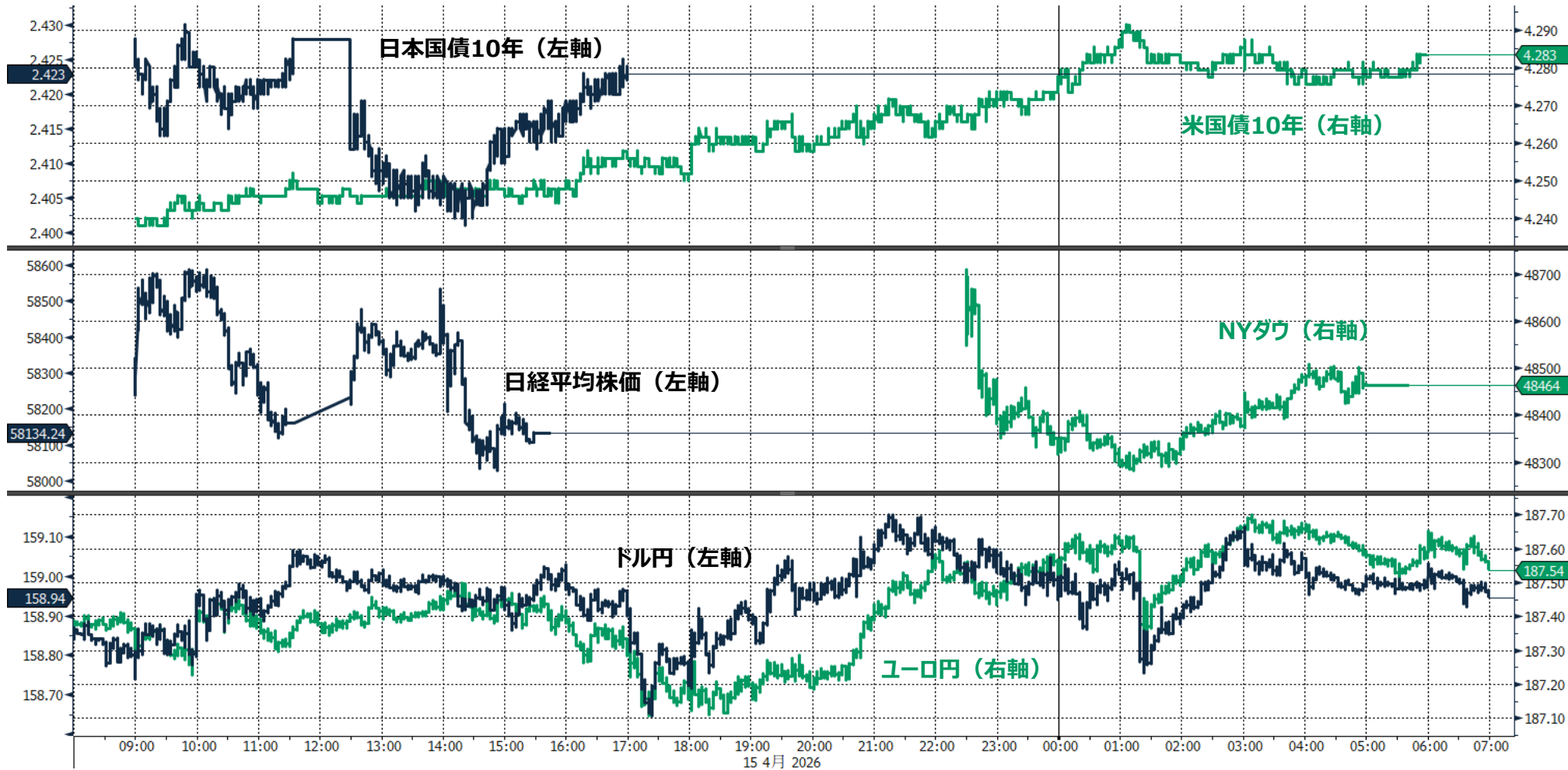
	イベント	注目点
4/21	米国とイランの交渉期限	米国とイランは2週間の停戦で合意。一回目の会談で合意はできなかった。米国は中間選挙を控えガソリン高等国民の不満があり、イランは財政面・軍事面で厳しい状況にあり、両国とも戦闘を終わらせたいという潜在的なニーズはあるが、小競り合いは継続しよう。引き続き波乱含み。
4/28	日銀金融政策決定会合	利上げ予想が50%程度と5分5分の情勢となっている。日銀短観を含め直近公表された経済指標は総じて利上げの後押しとなる結果。一方、イラン情勢の不透明感が不透明要因となっている。

◆前営業日のマーケット動向◆

○TOPIX33業種中 19業種が上昇（値上がり率上位）情報・通信業＞証券・商品先物取引＞銀行業

○S&P11業種中 7業種が下落（値下がり率上位）素材＞資本財・サービス＞公益事業

○主要通貨強い順 AUD＞CAD＞EUR＞USD＞GBP＞CHF＞JPY



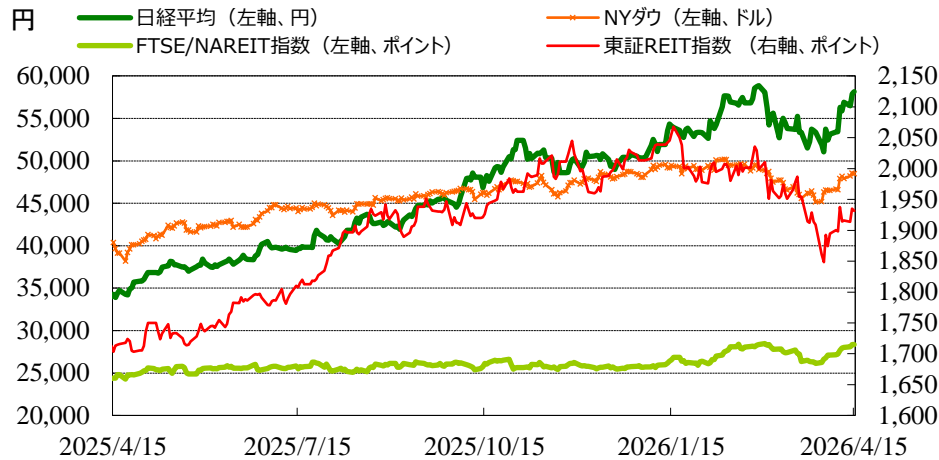
(出所: Bloomberg)

◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

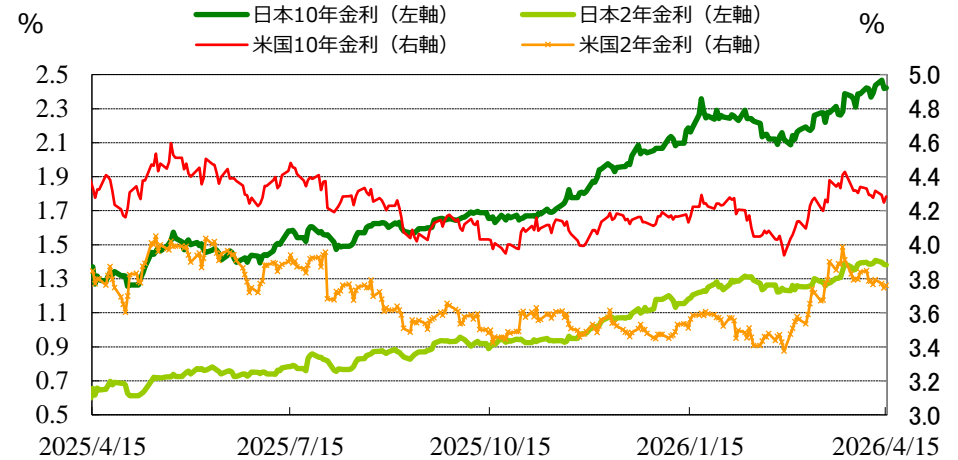
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

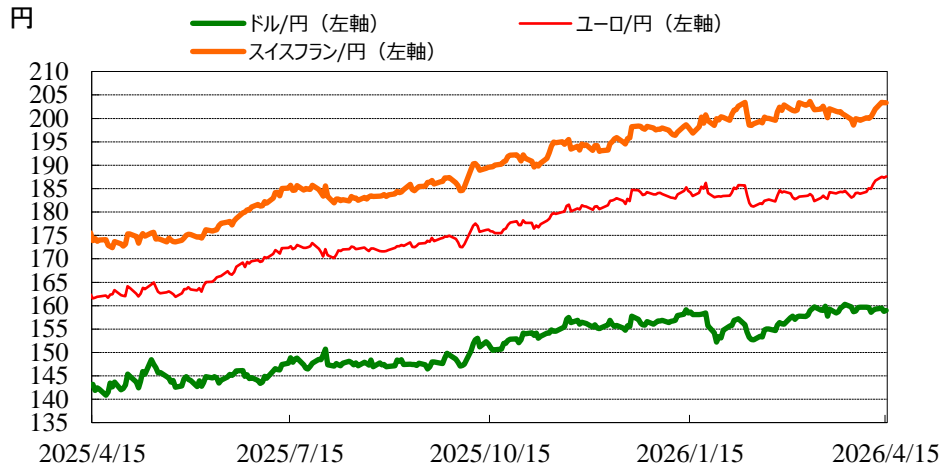
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



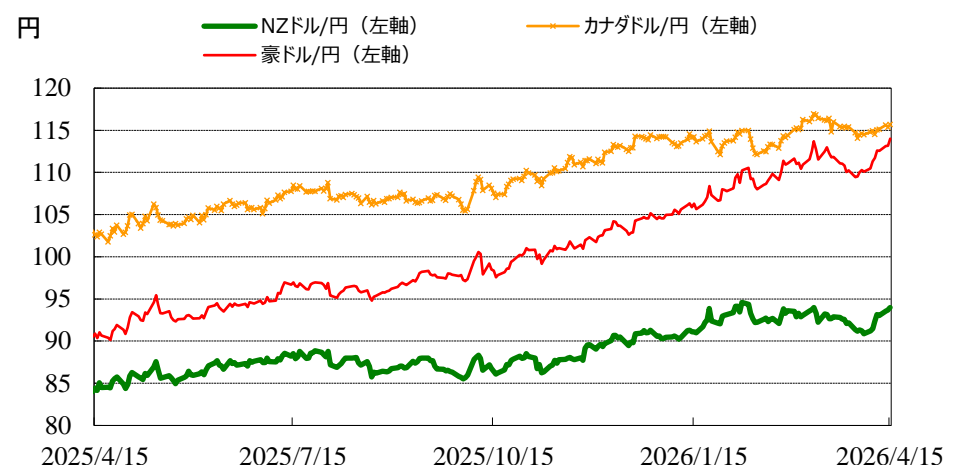
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）

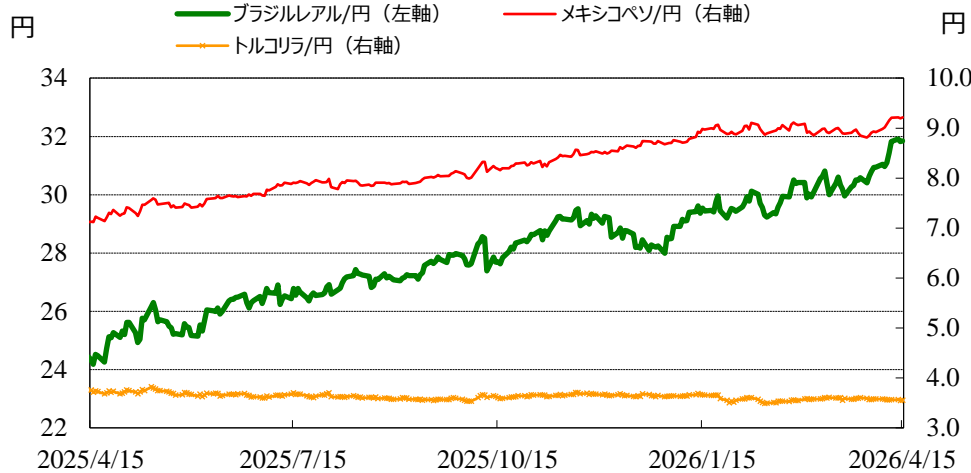


©注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていないと否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

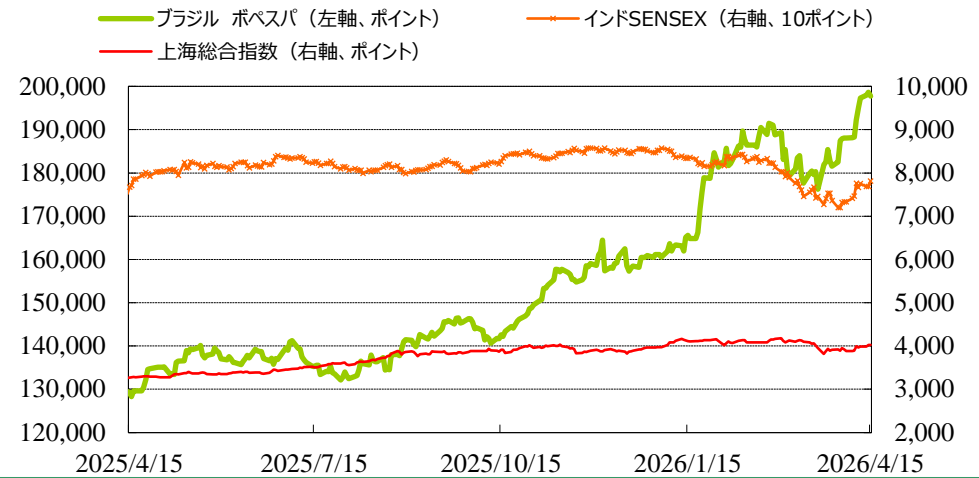
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

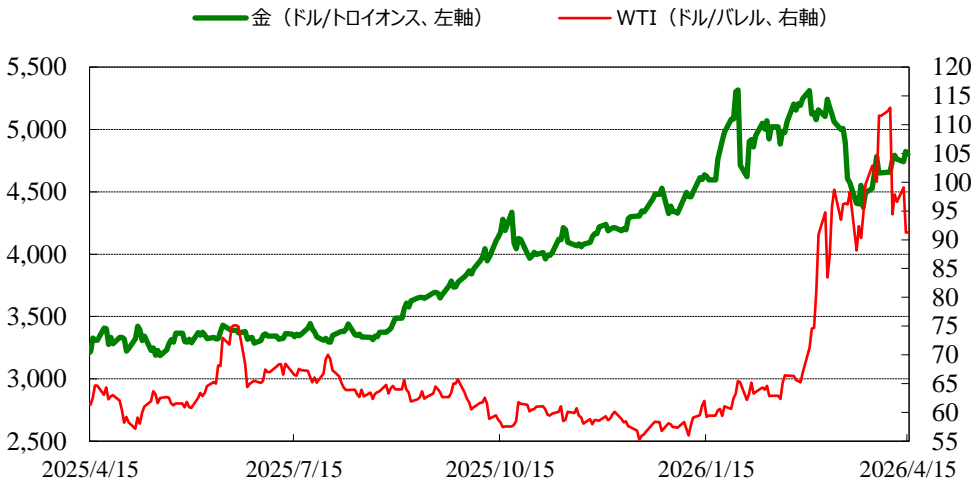
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



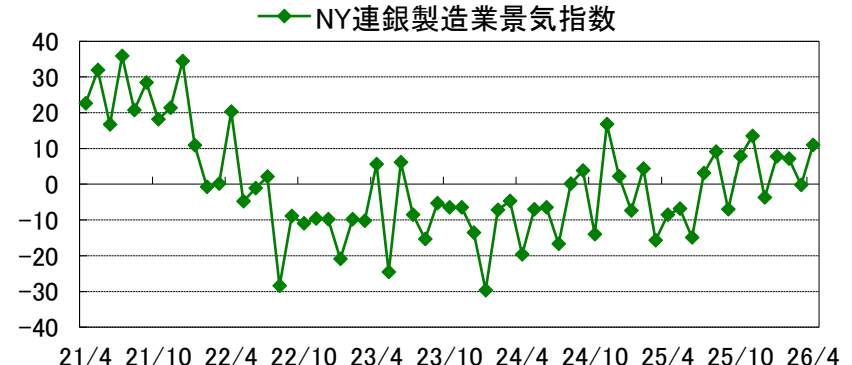
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：4月NY連銀製造業景況指数



出所：Bloomberg

4月NY連銀製造業景況指数：実績11.0（予想0.0、3月▲0.2）

◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

